

【実施区域・面積】

静岡県、25ha

【生態系タイプ】

里山林、二次草原・草地、水田、低層湿原・湿地

【実施区域の状況】

本サイトは、かつて、谷津田や棚田、薪炭林、採草地として利用されていた里地里山の再整備により、様々な生き物が生息できる環境を保全・再生した約25haの里地里山である。生物多様性の確保に視点を据えた里地里山の保全と、身近な自然環境を活用した森林環境教育フィールドとするために、平成19年度に開園した。

【目標】

環境省絶滅危惧Ⅱ類（VU）のフジタイゲキや静岡県準絶滅危惧（NT）のオオタカ等の希少動植物をシンボルとして、多様な生物の生息環境を保全を図るとともに、本サイトの自然環境を次世代に伝えられるよう、森林環境教育を通して生物多様性の大切さを普及することを目標とする。

【主な活動内容】

静岡県が地域のボランティア団体と連携し、豊かな里地里山の自然環境や景観を活用して、近隣の幼稚園・保育園や小学校を対象に、森林環境教育プログラムを提供している。

【モニタリング計画】

榛原ふるさとの森モニタリング計画書（2025年4月-2030年3月）のとおり。

【実施体制】

県が実施する通常の維持管理業務においてモニタリングを行う。また、県及び地元ボランティア団体等と協力して実施するとともに、サイト内の動植物に関心を寄せる県民に自然観察会への参加を呼びかけ、協働でモニタリングを実施する。



【計画期間】

令和7年9月～令和12年3月